

明けましておめでとうございます。みなさま健やかに新春をお迎えのことと思います。2022年はどのような年となるのでしょうか。新型コロナウイルスはどうなるのでしょうか。弱毒化してインフルエンザ程度になるのでしょうか。危惧すればするほどきりがないわけですので、まずは「健康であること」（コロナを含め病気になること）が第一で、そのためにはどうあるべきなのかしっかり自らの健康管理に努めなければなりません。

南部ブロック労福協の活動も昨年末から、Face to Faceでの活動が始まりました。やはり向き合った議論は必要であることを再認識しました。今後は中身に応じてリモートも織り交ぜた形態となりますが、これも当然の流れかなと思います。コロナの影は当面つきまとうものでしょう。

第4号の雑学コーナーでは、新型コロナウイルスの変異についてお知らせしますのでご覧ください。

### 【1】友田理事長から新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。ご家族お揃いで穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃より、労働者福祉運動の前進に向けた取り組みとともに、福祉事業団体の事業推進に対するご理解・ご協力に厚く御礼申し上げます。

さて、国内においてはこの20年余り、デフレ経済の下に低所得・不安定雇用が増加し、貧困と格差が拡大してきました。それに加え新型コロナ感染拡大により、有期・短時間・契約やフリーランス等で働く、弱い立場に置かれた方々が深刻な影響を受け、社会的セーフティネットの脆弱性も明らかになりました。

これまで、中央労福協ではコロナ禍で苦しむ方に対し、生活・就労応援基金として「ろうふくエール基金」を設置し、基金への呼びかけとともに、支援事業の相談員への応援や緊急生活支援の助成等に取り組んできています。

また、教育費や奨学金返済の負担を軽減する税制支援の実現をめざし、ハッシュタグ運動やオンライン署名等にも取り組み、皆さんからもご協力をいただいているところです。運動を継続し、社会的セーフティネットを強化して、貧困や分断をなくし、誰もが安心して学べる社会を実現していかなければなりません。

昨年の熊本県労福協の取り組みにおいても、感染症拡大防止の観点から、第10回通常総会(2021年5月開催)も一昨年に引き続き、書面議決の総会としたのははじめとして、開催形態の見直し、延期・中止など、対応に追われた一年でした。県内における新規感染者数が落ち着いてきた12月には、感染症拡大対策を講じながら、連合・労福協合同研究集会をリアルにて開催することができ、フェイストゥフェイスの大切さを再認識したところです。

感染症の収束が見通せない中、引き続き当面は状況を見極めながら、リアルとデジタルを活用した運動推進となりますが、「すべての働く人の幸せと豊かさをめざして、連帯・協同で

つくる安心・共生の福祉社会」の実現に向けた取り組みに対する、皆様のご理解と御協力をお願いします。

皆さんにとりまして、実り多き一年となりますよう心より祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

\*\*\*\*\*

## 【2】中央労福協活動コーナー

### ■ Web 学習会

日時 2022年1月21日(金) 13:00～14:30

(新年挨拶 10分程度、講演 60分程度、質疑・意見交換 20分程度)

開催形式 Web形式 (Zoom ウェビナー使用)

内容 「(仮題) 中央労福協会長としての6年間を振り返って

～今後の労福協運動への期待」 講師 神津里季生 氏 (中央労福協 顧問)

※講演に先立ち芳野友子新会長が新年の挨拶を行います。

参加対象者 中央労福協加盟団体の関係者。参加費は無料です。

参加申込 1月14日(金)までに次のURLよりご登録ください。

[https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN\\_yShIUEA\\_QFG7vDogN\\_8Zyg](https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_yShIUEA_QFG7vDogN_8Zyg)

- ・ご登録後、ウェビナー参加に関する確認メールが届きます。
- ・ご登録の際にメールアドレスの入力ミスにより確認メールが届かないケースが散見されることがあります。間違いのないようお願いします。  
ご登録時に今一度ご確認をお願いします。
- ・事前にお申し込みいただいた方に、後日、本学習会の動画を YouTube で視聴できる URL がご案内されます。(3カ月間限定公開)。

### ■以降の Web 学習会のご案内

日時 2022年2月4日(金) 13:30～15:00

「(仮題) 我が国の環境行政の取り組み～いま私たちの地球で何が起きているのか～」

講師 松田尚之 氏 (環境省大臣官房 環境計画課長)

## 【3】南部労福協活動コーナー

### ■2022年度労働者福祉南部ブロック協議会定期総会について

(1) 日 時 2022年2月17日 14時00分～15時50分

(2) 場 所 ホテル・レクストン鹿児島 (鹿児島市山之口町4-20)

(3) 代議員数 1 構成団体 3名 (12団体×3名)

熊本県労福協 3名 ( ) ( ) ( ) 選出します。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の観点から傍聴者の参加は控えることとする。

(4) 記念講演

①時 間 16時00分～17時30分

②講 師 平井一臣氏 鹿児島大学法文学部教授

③演 題 現代日本の民主主義－歴史の流れから考える

(5) 交流会 18時00分～19時30分

※新型コロナウイルス感染状況によって交流会開催の可否を判断

## 【4】県労福協活動コーナー

### ■県労福協第4回次世代リーダー研修・交流会

(1) 日 時 2022年2月26日(土) 14時00分～

(2) 場 所 熊本県労働者福祉会館大会議室

(3) 参加対象 各産別・労組の中堅・若年層の役員クラス (規模50名程度・前回参加者以外を対象とする)、県労福協理事長、事務局 ※(地区労福協、連合熊本構成組織)  
(2021年8月31日付け熊本県労福協発第11号参照)

※対象者の参加が難しい場合は、上記に関わらず若年層を対象に参加要請

#### (4) 会次第

①開 会 14時00分～

②理事長挨拶 14時03分～

③講 演 14時10分～

14時10分～【講演1】40分

演題 「労働者福祉運動・・・労働金庫について」

講師 九州労働金庫熊本県本部 本部長 上田 淳 氏

<質疑・応答>

《休憩》10分

15時00分～【講演2】40分

演題 「労働者福祉運動・・・こくみん共済coopについて」

講師 こくみん共済coop 熊本推進本部 本部長 田川 仁 氏

<質疑・応答>

15時45分～【講演3】40分

演題 「連合運動について」

講師 日本労働組合総連合会熊本県連合会 会長 友田 孝行 氏

<質疑・応答>

16時30分～ 閉 会

※2月18日(金)までに集約

\*\*\*\*\*

## 【4】雑学(トリビア) コーナー

### 「ウイルスは変異するほど弱毒化」本当? オミクロン株で言説拡散

新型コロナウイルスの変異ウイルス「オミクロン株」の感染が世界で広がり、日本でも感染者が確認された。SNS(ネット交流サービス)上では「変異するほど弱毒化する」といった根拠不明な言説も飛び交っている。ウイルス変異の仕組みや、現時点でオミクロン株について分かっていることを米国立研究機関のウイルス研究者で病理医の峰宗太郎さんに聞いた。

【上東麻子/デジタル報道センター】

11月に初めて南アフリカで感染が確認されたオミクロン株。米紙ニューヨーク・タイムズによると、7日午前8時時点で少なくとも世界51の国・地域に感染者が広がっている。南アフリカでは、1週間で感染者数が6倍以上になるなど、急拡大している。日本ではナミビアから28日に入国した男性から初めて検出され、これまでに3例が確認された。

SNS上では、さまざまな臆測が飛び交う。その一つが「ウイルスは変異するほど弱毒化する」という言説だ。

11月29日には著名な動物行動学者が「変異すればするほど、弱毒化することは常識。とうとう普通の風邪レベルになったのに、粹珍(=ワクチン、原文ママ)打てはおかしいよ」とツイート

した。この学者のフォロワーは約 7 万 5000 人おり、この投稿には 2000 以上の「いいね」がついた。

投稿では、海外メディアで放映された、オミクロン株に感染したとみられる患者約 30 人を診察した南アフリカの医師のインタビューも引用。この医師は「自分が診察した患者はすべて軽症だった」と話していた。

だが、こうした情報だけで断言することについて、峰さんはいずれもきっぱりと否定する。その理由を語ってもらった。

## 変異はランダムに起きる

### ■ウイルスの変異について教えてください。

まず初めに、厚生労働省や日本のメディアの多くは「変異株」という言葉を使っていますが、ウイルス学の分類でいうと、この用語の使い方は間違いです。「株」=strain は、「ウイルス学的な特徴が明らかに変わった」場合に使います。今までヒトにしか感染しなかったものがブタに感染するようになった場合などです。「デルタ」もそうですが、特徴がウイルス学的に大きく変わるとまでは言えない変異が生じたウイルスが現れた場合は、「変異体」=variant というのが正しいです。ただ、変異体という言葉は耳慣れないのでここでは「変異ウイルス」という言葉を使いますね。

### ■ウイルスは「変異すればするほど弱毒化する」のでしょうか？

いいえ。変異という現象自体は基本的にランダムに起こると考えられています。生物やウイルスは自分の遺伝情報を DNA（デオキシリボ核酸）や RNA（リボ核酸）に記録・保持しますが、変異とは、この一部が書き換わることを指します。新型コロナのような RNA ウイルスの場合は、RNA の一部が書き換わります。それによってたんぱく質の性質が変わるのです。

新型コロナウイルスはヒトの細胞に侵入し、細胞の機能も使って RNA を複製し、自己増殖します。変異によって、一つの性質として例えばこのスピードが「速くなる」「変わらない」「遅くなる」かは、それぞれランダムに起きます。その中で、よりヒトの細胞に「フィット」しやすい性質を獲得したものが残りやすいという「選択」が起きます。変異は私たちの体の中で起きるので、体の中で特に増えやすくなったもの、人にうつりやすくなったものが、体から出て行きやすくなり、なおかつ人の集団の中で残りやすいものが残っていくことが多いわけです。このように、生物の進化において、ある形質をもつ生物個体にはたらく自然選択の作用のことを「選択圧」といいます。

### ■淘汰（とうた）されていくということでしょうか？

淘汰説に近いですね。変異によって伝播（でんぱ）性（人から人へのうつりやすさ）が明らかに変わっていないもの、下がっているものもあります。しかし、伝播性が高ければ高いほど、集団内に広がりやすくなります。今まで報告されている変異した新型コロナウイルスは世界中に約 10 万種類とたくさんありますが、多くは「デルタ」など、「広がりやすい」ウイルスによってある意味で「駆逐」され、消えていっているのです。感染した際の病毒性についても、「強毒になる」「変わらない」「弱毒になる」場合があります。ワクチンが効きやすいかどうかについても同様です。変異すればするほど、どちらかに偏る傾向が元からあるということはありません。

ただし、どう選択圧がかかるかによって、傾向が変わる場合があります。思考実験で極端なケースを想定しますと、例えば病毒性がものすごく高くなり、罹患（りかん）したらその人は 2 秒で死ぬウイルスが出てきたとします。するとウイルスが排出されて他の人にうつることはできなくなりますから、そのウイルスは広まりません。実際に、2013 年に流行が始まった中東呼吸器症候群（MERS、マーズ）を引き起こした別のコロナウイルスは、致死率が 40%と高く、かかると重症になります。人にうつす間もなく患者さんは亡くなったり入院したりすることもあり、集団には広

がりにくかった。だから、そうした変異が選択されず、より毒性が下がって人にうつして回るウイルスの方が選択されることはあり得ま…【以下有料記事となりましたので申し訳ありませんが誌面上では終了となります。興味のある方は是非続きを読んで下さい。】

出展：毎日新聞社 ファクトチェック

\*\*\*\*\*

#### 【4】福祉事業団体の活動

以下の URL からご覧ください。

(1) 九州労働金庫熊本県本部

<https://kyusyu-rokin.com>

(2) こくみん共済 coop 熊本推進本部

<https://www.zenrosai.coop/contact/zenkoku/kumamoto.html>

(3) ユニオントラベル熊本

<http://unitora.com/>

(4) 秋津レークタウンクリニック

<https://akitsu-laketown.jimdofree.com/>

(5) ライフサポートセンターくまもと

<http://blog.rofuku.net/kumamoto-lsc/>

(6) 熊本県労働者福祉会館

[\(http://www.roukan.org/\)](http://www.roukan.org/)

\*\*\*\*\*

#### 【5】事務局からひと言

■ **世界の超富裕層の資産が**、世界全体の個人資産の約 4 割をしめているそうです。コロナ禍の中株式等の資産価値が急騰して、格差が一段と広がりました。不平等は今後も広がり続け、富裕層や巨大企業への課税強化が不可欠だと言われていますが、どうなるのでしょうか、国の宰相が「トリクルダウン」で富は滴り落ちてきますと言っていました。が、実感した人はいますか？富というものは、下まで滴りおちるものではなく、富めるものの基、富みは持続拡大するものようです。

日本にも凄い人がいます。宇宙を旅行し、次はお金をばら撒く、そして月旅行に行きたいとか・・・皆さんどう考えますか。片や年末には「子ども食堂」に並ぶ行列の報道もされてましたが。

格差には様々なものがあります。地域間、学歴（学ぶチャンス）、男女間等々・・・。

県労福協は、すべての働く人の幸せと豊かさを目ざして連帯・協同安心・共生の福祉社会をつくるために 2022 年も頑張っています。

■ **新型コロナウイルスが**、年明け早々増加傾向に転じました。オミクロン株の市中感染が散見していますが、何とかできないもののでしょうか。まずは、自らが出来る対策を講じるしかありませんが。新年会を計画されているところも多数あるかと思いますが、「次

はどこいこか・・・」はやめておいた方がいいかなと、自らに言い聞かせているところ  
です。

## 今こそ! 労福協の力を

「持続可能な社会をめざして」「誰ひとり取り残さない社会をめざして」そのような思  
いでふれあい通信を継続していくことができれば・・・

**ご意見、ご要望をお聞かせください。**

一般社団法人 熊本県労働者福祉協議会

〒862-0976

熊本県熊本市中央区九品寺 1 丁目 17-9

TEL 096-375-6029 FAX 096-375-6030

E-mail [rofuku@lime.ocn.ne.jp](mailto:rofuku@lime.ocn.ne.jp)